

も く じ

ようこそ消えつつある身近な昆虫たちの世界へ 3

ツマキチョウ——^{はね}翅を閉じると周囲の^{かんきよう}環境に見事にとけこむ究極の^{ぎたい}擬態 8

ジャコウアゲハ——毒草を食べて、自らも毒をまとう^{しっこく}漆黒のチョウ 11

ギフチョウ——^ま里山に舞いおる春の女神 15

アサギマダラ——長い旅に向け^{きゆうみつ}吸蜜で体力増強 19

オニヤンマ——日本最大・最強のトンボ 20

ヤブヤンマ——水面ではなく石ゴケに産卵 22

ベッコウガガンボ——^{き はだ}樹肌の穴に腹部を差しこみ産卵 24

コムラサキ——幼虫はヤナギ科の植物を食べ、成虫は樹液を吸う 26

タマムシ(ヤマトタマムシ)——国宝に使われた^{かがや}光り輝く^{はね}翅 28

ヨコヅナサシガメ——サクラの古木に生息 30

チョウトンボ——チョウのようにひらひら飛ぶ 32

ウmanoオバチ——^{かい き}複雑怪奇な生態 33

ニホンミツバチ——ノーベル賞研究者も生んだ高度の社会性をもったハチ 40

アカガネサルハムシ——赤、緑、青に^{かがや}光り輝く^{はね}翅 43

ツノトンボ/オオツノトンボ/ヒメカマキリモドキ——じつはカゲロウの仲間 44

トゲアリ——クロオオアリの女王アリの殺して自分の卵を育てさせる 46

オオアオイトトンボ——^{はね}翅を半開きにして枝にとまる 48

ゴイシジミ——幼虫が葉を食べない日本で唯一の^{ゆいいつ}チョウ 51

クロナガアリ——秋から冬に^{かつやく}活躍する変わったアリ 54

ウバタマムシ/ウバタマコメツキ——見かけも生活史もそっくり 56

ゴマダラチョウ——外来種のアカボシゴマダラに追われる 58

ニトベハラボソツリアブ——^{こう び}交尾しながら^{きゆうみつ}吸蜜するのはメスばかり 61

リンゴコフキハムシ——自分の^{ふん}糞を卵にぬりつける 62

